



あーすぷらざ
かべ新聞
2013年度 第1号

社会へ つなげる一歩



やった、やった！
ほら、立てたよ！

Photo
NGO ムリンディ/ジャパン・
ワンラブ・プロジェクト

紛争などのつめあと

これは初めて義足を付けて立ったルワンダ人のシンバさんの様子です。アフリカのルワンダやブルンジでは、約20年前に起きた紛争などの影響で、手足に大けがを負ったまま生活している人が沢山います。

真美さんとガテラさんの活動

1996年、真美さんと夫のガテラさんは手足を失った人たちの心と身体の支援のために、義肢装具を製作し、無償提供するNGOを作りました。活動は口コミで広がり、今では義肢作りに大忙し。しかし、ルワ



義肢を得た人たちの笑顔と喜びは私たちの活動の原動力！

真美さん

ガテラさん

※義肢装具：義肢は人工の手や足のことで、装具は機能を失った身体の補助の役割を果たす器具のこと。

ンダやブルンジは障がい者が仕事に就くのが難しい国であるため、もらった義肢を売ってしまう人もいます。真美さんたちは義肢を提供するだけでなく、彼らの自立を目指して、障がい者の職業訓練や仕事をするための環境作り、政府への働きかけなど、様々なチャレンジを続けています。「自分の足で立ち、仕事を見つけて、自分の人生を作っていきたい。」とシンバさん。この笑顔から、彼らの本当の自立と社会へ出るための一歩が始まります。

あーすぷらざの映像ライブラリー情報フォーラムにもあるよ！

詳しく知りたい人は…



「世界にははたく日本力 日本の医療」
編さん ことくらぶ
ほるぶ出版



「わかんないことは希望なのだ」
新たな文化を切り拓く
15人との対話
編著 春原憲一郎
アルク



真美さんたち NGO のニュースレター「ONE LOVE 通信」
<ワンラブ通信>で検索！

世界で活躍！日本の義肢装具技術



研修中の様子。真剣だね～！

真美さんが義肢装具製作を学ぶために5年間修行した横浜市戸塚区にある「平井義肢製作所」は、ルワンダ人の研修生を受け入れ義肢装具士の育成支援をしています。ルワンダとブルンジの技術は日本仕込み！これまでにここで研修を受けた義肢装具士6名が支援した障がい者はのべ6千人になるそうです。

※義肢装具士になるためには、国家資格が必要です。

神奈川県立地球市民かながわプラザ

あーすぷらざ

発行：神奈川県立地球市民かながわプラザ 指定管理者：公益社団法人 青年海外協力協会
問合せ：〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-2-1 株式会社 金港美装
TEL 045-896-2121 FAX 045-896-2299 http://www.earthplaza.jp
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館）〈貸出施設を除く〉



あーすぷらざは、国際理解や平和、地球規模の課題について、展示やセミナーを通して学ぶ場所です。 ■再生紙を利用しています。